

# ✦ 悩める家族と当事者のためのメンタル情報紙 ✦



No. 96



# やしお

発行所：〒329-1104 宇都宮市下岡本町2145-13  
 栃木県精神保健福祉センター内  
 栃木県精神保健福祉会（通称やしお会）  
 TEL 028 (673) 8404 FAX 028 (673) 8441  
 メールアドレス yashio@lime.ocn.ne.jp

## 5・13 交通運賃割引署名、国会議員に請願要請。

去る5月13日、全国各地からの要請団162名（17グループ編成）が集結して、総数62万4,155筆の「精神障害者の交通運賃に関する請願書」を携え、179名の国会議員に国会への請願要請を行いました。

やしお会も、本県選出の国会議員、船田元氏、西川公也氏、茂木敏充氏、福田昭夫氏、上野道子氏、高橋克法氏、田城郁氏の衆・参合わせて7氏に国会紹介への承諾を頂き、興野会長ほか9名の要請団を結成し要請して参りました。

目標の百万筆には及びませんでしたが、本県は目標の2万筆を大きく上回る26,359筆の署名、そして10万円余りの寄付まで頂きました。これも自治体や医療機関、各種施設や団体、企業や事業所、そして地域の方々のご協力の賜と、深く感謝申し上げます。

また、署名活動の最中には、精神障がい者の実状を理解し励ましの言葉まで頂きました。そのうえ皆様の温かな真情に触れて、我々家族も偏見・差別を乗り越える勇気までも頂き感激しております。この実り多き経験を「いま・ここ」から活かす所存ですので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

尚、「みんなねっと」から、6月1日付で



みんなねっとより



参議院国土交通委員会は、民進党、共産党、社民党、無所属会が賛成し自民党、公明党、日本のこころ会派が保留しました。衆議院国土交通委員会では、共産党は賛成しましたが自民党、公明党、民進党、大阪維新、無所属は保留しました。

両委員会とも反対を表明した会派はありませんでしたが、請願の採択は慣例として全会一致が原則となっているため不採択（保留・審議未了）となりました。

ただし、次期国会以降あらためて請願を行う場合、62万筆の実績を踏まえての提出とする事が出来ます。

との報告を頂いております。

動画をアップしました。 検索用語は

JRなど運賃割引推進チーム



みんなねっと理事長挨拶



で見られます。

# 挨拶

栃木県精神保健福祉会 会長 興野 憲史



昨年度はみんなねっとの呼びかけに応じて、「精神障害者の交通運賃に関する請願書」の署名運動を実施したところ、家族会会員の皆様のご協力により、なんと、26,359筆もの署名が集まりました。有り難うございました。

これは、静岡、福岡、愛知、東京、神奈川に次いで全国6位の成績です。栃木より上位の5都県はいずれも我が県より人口が多い県でありますし、家族会の数及び会員数もわが県の何倍もある県であることを考えますと、我が栃木は実質1位であると思われま

す。これは誇っても良いことだと思います。

この運動を通して何より良かったことは、家族会の会員が一つの目標に向かって協力し合えたこと。そして、精神障害者が他障害者と差別されているという事が多くの人達に分かってもらえたことだと思います。

本年度はその署名を議員さん達を通して国会に提出し、採択して頂くようお願いする訳であります。お願いをしたからと言ってこの案件が必ず通るわけではありませんが、お願いをすることにより、国会議員の先生方にも精神障害者のことを理解して頂き、本年4月1日に障害者差別解消法が施行されましたので、その法律通りに精神も扱って頂けるようお願いするのには絶好の機会と考え、トライするつもりです。

また、今年は医療費の助成について他県の様子等について調べ、運動の方策等についても研究していくつもりでありますので皆様の応援宜しくお願いします。

栃木県精神保健福祉会（やしお会）

平成28年度 役員 紹介

役職名	氏名	所属等
会長	興野 憲史	宇都宮やしお会
副会長	青木 公平	栃木県精神衛生協会
副会長	前野 澄子	小山地区やしお会
理事	渡辺こずえ	ほっとスペースひだまり
理事	船渡川政義	佐野やしお会
理事	河田加代子	足利やしお会
理事	石下 直子	クローバーハーツ癒しの夢工房
理事	秋元 秀子	県北地区代表
理事	久保田和子	足利やしお会
理事	坂本 紀夫	宇都宮やしお会
理事	栗原 敏勝	宇都宮やしお会
理事	半田 慶恭	日光地区やしお会
理事	大越 進	ピアサポートやしお
理事	関口 忠光	宇都宮やしお会
理事	大坪 朋子	鹿沼やしお会
監事	安達 政弘	足利やしお会
監事	植村 健一	クローバーハーツ癒しの夢工房
顧問	増茂 尚志	栃木県精神保健福祉センター
顧問	小竹 亥作	足利やしお会
顧問	小池 秀明	栃木県精神障害者支援事業協会
新顧問	箕輪 真理	社会保険労務士

（みのわ経営労務オフィス代表）

# 平成28年度 行事予定

## 中央大会

平成 28 年 7 月 22 日 (金) 10:00 ~ 15:40 宇都宮市保健所

## 家族教室 (栃木県委託事業)

**●講演会 中央大会PMの部**

日時：平成 28 年 7 月 22 日 (金)

13:00 ~ 14:30

会場：宇都宮市保健所

講師：佐々木常夫氏

(株式会社東レ経営研究所特別顧問)

演題：「それでもなお生きる」

**●講演会 日光地区精神保健福祉会主催**

日時：平成 28 年 9 月 11 日 (日)

14:00 ~ 16:00

会場：日光市中央公民館

講師：咲セリ氏

『死にたいままで生きています』 著者

内容：咲セリ氏と心理カウンセラーとの対談

## 地区家族会の取り組み

**●病院見学 宇都宮精神保健福祉会主催**

訪問日：平成 28 年 11 月 17 日 (木)

訪問先：森病院

## 各種会議参加理事一覧

委員会名	氏名	依頼先
栃木県社会福祉協議会 評議員	興野憲史	栃木県社会福祉協議会
栃木県選考委員会	興野憲史	栃木県社会福祉協議会
栃木県運営適正化委員会	小池秀明	栃木県社会福祉協議会
栃木県自立支援協議会	坂本紀夫	栃木県保健福祉部障害福祉課
栃木県障害者施策推進審議会	前野澄子	栃木県保健福祉部障害福祉課
栃木県障害者差別解消推進委員会	前野澄子	栃木県保健福祉部障害福祉課
栃木県地方精神保健福祉審議会	前野澄子	栃木県保健福祉部障害福祉課
栃木県地方精神保健福祉審議会	渡辺こずえ	栃木県保健福祉部障害福祉課
栃木県社会福祉審議会	小池秀明	栃木県保健福祉部保健福祉課
栃木県ひとにやさしいまちづくり推進協議会	石下直子	栃木県保健福祉部保健福祉課
栃木県地域福祉支援計画推進委員	興野憲史	栃木県保健福祉部医事厚生課
栃木障がいフォーラム	興野憲史	栃木障がいフォーラム
栃木県精神衛生協会評議員	前野澄子	栃木県精神衛生協会
栃木県立岡本台病院運営協議会	興野憲史	栃木県立岡本台病院
栃木県医療観察制度運営連絡協議会	興野・前野他	宇都宮保護観察所
栃木県障害者社会参加推進センター社会参加推進協議会	興野他	栃木県身体障害者団体連絡協議会
栃木運輸支局バリアフリーネットワーク会議	興野憲史	関東運輸局栃木運輸支局

## 各地区やしお会 定例会・家族相談会のご案内

お一人で悩んでいませんか。ご自分の苦しい思い、また辛い想いを理解してくれる人がいたらいいなと思いませんか。やしお会では、家族支援として家族による家族相談をやっていきますので、そんな時は是非ご利用下さい。 **相談は無料です**

### やしお会本部

**相談会** 日時：毎週水曜日 10:00～15:00  
\*祝日を除く

会場 やしお会事務局(栃木県精神保健福祉センター内)  
お問い合わせ 028 - 673 - 8404

### ピアサポートやしお(本部家族会)

**定例会** 日時：第2土曜日 13:30～15:30  
**相談会** 日時：第2土曜日 13:30～15:30

会場 とちぎ福祉プラザ  
お問い合わせ 028 - 673 - 8404

### 宇都宮精神保健福祉会

**定例会** 日時：第3木曜日 13:30～15:30  
**相談会** 日時：第1・第3木曜日 10:00～12:00

会場 宇都宮市保健所  
お問い合わせ 028 - 626 - 1114

### 足利精神保健福祉会

**定例会** 日時：第3木曜日 13:30～15:30  
**相談会** 日時：第1・第3木曜日 10:00～12:00

会場 足利やしお会事務所  
お問い合わせ 0284 - 64 - 9770

### 佐野精神保健福祉会

**定例会** 日時：第3水曜日 13:30～15:30  
**相談会** 日時：第2・第4水曜日 13:30～15:30

会場 佐野やしお会事務所  
お問い合わせ 0283 - 24 - 9880

### 日光地区精神保健福祉会

**定例会** 日時：第3水曜日 13:30～15:30  
**相談会** 日時：第2・第4木曜日 10:00～12:00

会場 NPO法人ふれ愛の森  
お問い合わせ 0288 - 22 - 7438

### 小山地区精神保健福祉会

**定例会** 日時：第2木曜日 12:45～13:45

会場 県南健康福祉センター  
お問い合わせ 0280 - 57 - 2673

### 鹿沼精神保健福祉会

**相談会** 日時：第3土曜日 14:30～16:30

会場 鹿沼市総合福祉センター2F  
お問い合わせ 080 - 6748 - 9199

### NPO法人ほっとスペースひだまり

#### 西川田ひだまり

お問い合わせ 028 - 645 - 6686

#### ふくぶく亭

お問い合わせ 028 - 666 - 8693

### クローバーハーツ癒しの夢工房

**相談会** 日時：第3週目の月曜日 9:00～18:00

会場 塩谷町玉生 1588-2 (相談員 植村自宅)  
お問い合わせ 0287-45-2299/090-4242-0147

## その他の家族相談会

### 那珂川町の相談会

NEW

**相談会** 日時：第4週目の月曜日 9:00～17:00

会場 道の駅ばとう  
お問い合わせ 090 - 4242 - 0147 (相談員植村)

### 那須烏山市の相談会

**相談会** 日時：第2週目の月曜日 9:00～18:00

会場 大金駅前観光交流施設「ナスカ市場」内  
お問い合わせ 090 - 4242 - 0147 (相談員植村)

## 地域訪問

今回は今年 3 月、4 月、5 月の活動内容を報告致します。

### ☆那須町☆(やしお会地域訪問第十二回)

第十二回地域訪問は、3月25日(金)興野会長と大越の2名で那須町保健福祉課障がい者福祉係の阿部浩太係長を訪問、精神障害者に対する交通運賃割引制度適用署名運動への協力を依頼しましたが、残念ながら協力を戴くことは出来ませんでした。那須町は人口およそ2万6千人。障害者手帳(ブルー)所持者は100名。町では家族教室等の支援は行っていません。興野会長から、訪問の趣旨や「やしお会」の発足の経緯、現在の活動状況を説明、特に「障害者差別解消法」が4月1日から施行されますが、精神障害者に対する偏見や差別は未だに根強いものがあり、当事者及びその家族は日々不安と困難を抱えています。こうした問題は個人ではなかなか解決することが出来ません。家族会という団体があれば様々な要望活動や行政が行う審議会等へ参加することが出来、解決への道が開けます。」と地域における家族会の必要性について話し、先ずは、家族相談の案内を町のHPや広報に掲載して欲しいことなど話し合いをしました。



興野会長 阿部係長



前野副会長と保健師の柳田さん

### ☆さくら市☆(やしお会地域訪問第十三回)

第十三回地域訪問は、4月27日(水)前野副会長と大越の2名で氏家保健センターにさくら市健康増進課 保健師の柳田里子氏を訪ね、精神障害者とその家族に対する市の福祉サービスについてお話を伺いました。事務的な福祉サービス業務は、市民福祉課が行っており家族教室や家族相談の情報はありませんでした。

前野副会長からは、先の署名運動に協力して戴いた御礼とやしお会の存在や活動について説明し、特に本年4月1日から障害者差別解消法及び県障害者差別解消推進条例が施行されたこと、まだまだ厳しい精神障害者に対する格差と偏見を無くすために行政の力が必要であることを説明し、やしお会のポスターの掲示と家族相談の案内をHPや広報に掲載して欲しいことなど意見交換をしました。

### ☆県北健康福祉センター☆(やしお会地域訪問第十四回)

宇都宮から北東へ50キロ、那須与一や松尾芭蕉ゆかりの地として知られる大田原市は、平成18年那須郡湯津上村・黒羽町を編入しておよそ2万9千世帯、人口7万5千人の町になりました。5月25日(水)、県北健康福祉センターの健康支援課家族教室担当で保健師の杉山さんを訪問しました。県北健康福祉センターは、県の出先機関として大田原市、那須塩原市、那須町を管轄しおよそ8万5千世帯、人口21万7千人の健康と福祉を支えています。精神障害者支援としては、こころの病を理解するための家族教室を原則第3金曜日に開催し、年12回にわたり講和、グループワーク施設見学、座談会等のカリキュラムを組んで地域の精神保健福祉の向上に貢献をしてい

ます。当日は、前野副会長、大関さん、大越の3名でやしお会の活動内容を説明し、特に昨年8月から今年3月まで行った精神障害者に対する公共交通費割引制度適用の請願署名運動の成果について報告し、今後は地域と連携して当事者とその家族に対する支援活動をやって行きたい旨お話しして協力をお願いしました。特に、災害時の支援には家族会が非常に重要な役割を果たすことなど有意義な話し合いの場を持つことが出来ました。やしお会が行っている家族相談の案内を市の広報及びHPに掲載し、精神障害者支援の広報活動への協力をお願いしました。



大関さん 杉山さん 前野副会長 大越

## 家族にも欲しい経済支援

やしお会会員 坂本紀夫

精神障がい者の症状も向精神病薬の開発が進むに連れ軽症化しつつあって、入院患者の地域移行・地域定着が推し進められている。

しかし、退院しても地域に社会復帰施設やグループホーム等の受け皿が無ければ、家族の待つ家（地域）に戻るしかない。誰にも頼れず孤立している家族、なかでも障害年金さえ支給出来ず、苦戦を強いられている家族には、更なる試練が待ち受ける。金銭だけで解決するものではないが、同居する家族への年金(手当)のような形での支援制度があれば、少しは救われて有り難い。

また、老人介護の現場などでも、やむなく職を辞し収入の道が閉ざされて、貧困に喘いでいる家族もいると聞く。障がいを持つ家族の一員を、その家族が支えるのは当然の事とは言え、精神的にも経済的にも家族のみに押し付けてしまえば、一番小さな社会（家族）も崩壊の危機に瀕することになる。

家族が崩壊すると日本はどうなるのか。百年の計に期待したいものである。

## 賛助会入会のお願い

うつ病や統合失調症などの精神障害を持ちながら頑張っている当事者とその家族の応援団になって下さる賛助会員を募集しています。賛助会員には機関紙「やしお」やイベント等のお知らせを送付いたします。

会費は、当会の活動に大切にに使わせていただきますので、よろしくお願ひします。

年会費 団体の場合 1口 10,000円  
 個人の場合 1口 2,000円  
 1口以上、何口でも結構です！

(振込先) ゆうちょ銀行  
 口座記号番号 00180 - 8 - 513307  
 加入者名 栃木県精神保健福祉会 やしお会

### 当事者会紹介

## …… 仲 間 の 輪 ……

ゆったり、ゆっくりと仲間同士で支え合いながら、  
様々な役割、やりたい、なりたいを皆で叶えています

### 仲 間 の 輪 の 活 動

#### メインの活動

《セルフヘルプミーティング》

日 時：月に 2 回・水曜日 14:00 ~ 15:00

内 容：テーマトーク

言いつばなし、聞きつばなし

《仲間の輪会議》

日 時：月に 2 回・水曜日 15:30 ~ 17:30

\* 出席者は 5 ~ 8 名

足利や栃木から参加される方もいらっしゃいます

#### クラブ活動

《ギターとかクラブ》

活動日：毎週金曜日

内 容：みんなで楽しく音楽をする

・楽器はギターじゃなくても OK!

《音楽愛好会》

活動日：毎週木曜日

内 容：自分の好きな曲を持ち寄り、みんな  
で聴いて楽しむ

#### その他の活動

- ・パソコンクラブ
- ・お笑いプロジェクト
- ・なんでも読書クラブ (休止中)
- ・テニスクラブ (休止中)



### 今 後 の 予 定

- ☆ 啓発活動 (大学での講演)
- ☆ 家族会へのお話
- ☆ 民生委員へのお話
- ☆ 交流会  
(宇都宮の当事者会スタードリームなど)

今回は、佐野で活動している  
仲間の輪代表の藤原さんに、  
かのう がお話を伺いました



様々なプログラムが充実していて  
楽しく行われているのが  
素晴らしいです。  
1F の喫茶もいい雰囲気  
オススメです。

#### 仲間の輪へ入会を希望される方は

件名：仲間の輪入会希望

本文：団体もしくは個人名

を明記して、下記アドレスへ送信して下さい。

アドレス：nakamano.wa0528@gmail.com

議事録配信中!! ご意見・ご感想お待ちしております。

#### 問い合わせ先

〒 327-0845

佐野市堀米町 3934-9

Café ピアルクラブ SANO 2F

Tel : 080-4135-5545



読者の頁  
みんなの広場

大竹海岸奮闘記



浜狩 栗一

先日、茨城県は大竹海岸へ蛤狩りに出かけた。猿三匹が花三本携えて午前三時に出発である。入場時に土産用蛤を支給されたのは何とも言えない。太陽が昇るにつれ、蛤に誘われたゴキゲンな連中がわらわらと羽虫の如く集まった。その日は晴天に恵まれ、絶好の狩日和となった。潮風に当たるのはとても心地良く、これは吉兆だと受け取らざるを得ない。

開始に先駆け、何をすることもなくただ只管怠惰に勤しんでいた。蛤を想像した際に無意識に帆立を想像し、実物を見てガッカリすることに何か命名すべきかと妄想に耽り、怠惰道を究めんと境地に達しようという頃に、悪魔の囁きがあった。警察の取締が厳しい昨今、早朝の功労者である運転手を尻目に麦酒を仰ぎ、背德的な味を愉しむのも一興ぢゃあないかというおよそ人の所業とは云えない悪逆無道である。だが、幸い私は酒が一滴も飲めないことを思い出し、然すれば冷たいラムネは格別だろうと想像を膨らませ、持参した水筒を飲み干すという奇天烈且つ快刀乱麻を断つ様な振る舞いに出たのであった。

大竹海岸は蛤を人工で拵える様で、これ如何にと見物していた所、蛤マシーンなる機体が浜辺を横断するではないか。果たしてこれが潮干狩りと云えるのかはさておき、頃合いかと意気軒高と準備したのはいいものの、さながら競走馬の如く一時間待たされる我々蛤乱獲部隊。「辛抱堪らん」という声が聞こえてきそうである。そんな中、海岸では合衆国大統領に扮した地元民が蛤を撒くという茶番が催され、その一挙手一投足に親近感が湧き、「ハイブラザー、お互い大変だな」と労いたくなった。かくいう私もTシャツに短パン、麦藁帽子に豆絞り、長靴、熊手、ブリキのバケツという時代錯誤を貫いたクールな出で立ちで、地元民と遜色のない気合の入り様であった。

浅薄の見世物が終息に向かうや否や、皆一斉に駆け出した訳だが、開始の号令は鳴ったのか判断がつかず、賽や火蓋が投げられたり切られたり乱暴されることなく、祭は始まってしまったのであった。戦端は開かれたが、一向に砂の感触を噛み締めるばかりで、終いには小石が蛤に見える錯覚に陥ってしまう体たらくである。周囲も同様の有様で、自身の非を認めず必死に正当化したことは想像するに容易い。波風立つことなく、潮時かという空気が浜辺に流れた頃、漸く邂逅となった。坊主でないだけ次善或いは三善とも云えるが、料金制にも関わらず、オンリーワンという圧倒的現実を突き付けられ、頭がグニャリとゆれた。帰りがけに販売用蛤を購入するなど無粋なことはいししない。虚往虚帰とはいえ、猿にも矜持の一つや二つぐらい持ち合わせている。

将来やりたいことリストに「浜辺で冷たいラムネを飲みながら麻雀を打つこと」が加わったことは内緒である。花については割愛させていただく。「元気で行かう。絶望するな。では、失敬。」



編集  
後記

先日、5月10日に栃木県精神保健福祉センターで、今年第1回目の家族教室が開かれ、当センター所長の増茂先生が「統合失調症の理解と対応」について講話をされた。私は毎年増茂先生の講話を拝聴しているが、先生のお話はやさしい語り口でよく分かり、その度に精神疾患への理解が深まり、そしていつも、新たに何かを得る事があったと、大変感謝をしています。

先生はまた、精神科治療の枠組みを大きく転換させる、可能性のある試みとして注目されている、早期精神病状態 (ARMS) と、早期介入の事を紹介して下さいました。

ARMSとは、10歳前後の学童に一過性に認める未分化で微細な精神症状で、幻視、心霊現象、解離的な身体感覚異常など統合失調症早期兆候とされた症状に近似している。

ARMS事例への「ケースマネジメントによる早期介入の試み」がオーストラリア、香港、シンガポールで報告され、成果を上げているとのことであった。日本では、東邦医大(水野教授)、三重県立精神医療センターなどの報告がある。わが国でもARMSのケースマネジメントによる早期介入の試みが広く取入れられるよう願う次第であります。

SH